



H29年度 甲斐市立竜王南小学校
校内研究 研究概要

研究テーマ
サブテーマ

1 研究テーマ・サブテーマ

『意欲をもって学び 未来を拓く子供たちの育成』
－「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくりを通して－

研究テーマ
設定理由

2 研究テーマ設定理由

児童の実態

(1) 児童の実態や地域の教育課題

本校は新興住宅地に位置しており様々な家庭環境にある児童が在学している。このような地域性や家庭教育力の変化などにより、児童が直面している課題は多岐にわたり、課題解決に向けて柔軟な対応が必要である。学校現場は、児童が一日の大半を過ごす場である。だからこそ児童の一人一人の資質・能力が伸ばされ、集団生活を通じて心身ともに成長を感じられる場でありたい。それには、心の涵養を中核とした教育が欠かせない。心の豊かさを下支えとして、学力向上の推進を図り、児童の自尊感情の高まりにつなげられるような日々の教育を行っていくことが不可欠であり、この実践を行っていくことで地域に信頼された学校となるのではないかと考える。

社会の要請

(2) 時代や社会の要請

平成 29 (2017) 年 1 月に中央教育審議会教育振興計画部会より報告された「第 3 期教育振興基本計画の策定に向けた基本的な考え方について」では、社会の現状や平成 42 (2030) 年以降の変化等を踏まえ、取り組むべき課題がまとめられている。具体的には、少子高齢化の進展に伴う就学・就業構造の変化、技術革新やグローバル化の進展に伴う産業構造や社会システムの変化等が挙げられている。グローバル化の進展等によって一つの出来事が広範囲にかつ複雑に伝搬し、社会の変化を正確に予測することがますます難しくなっており、さらには子供の貧困など格差の固定化、地域間格差など地域課題等も取り上げられていて、児童自身や家庭、学校など児童を取り巻く状況は著しく変化している。

また、平成 28 (2016) 年 8 月、同審議会教育課程部会において示された「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」の中では、育成すべき資質・能力の三つの柱が整理されていて、学びの質に着目した授業改善は欠かせない。これは山梨県教育委員会の「新やまなしの教育振興プラン」で述べている社会を生き抜く力及び甲斐市教育委員会「創甲斐教育推進大綱」で掲げている将来を生きる力の醸成を目指した教育にもつながる。以上のことから、未来を切り開くために必要な資質・能力を身に付けたり、生涯にわたって能動的に学び続けたりする児童を育成するためにも、主体的・対話的で深い学びを求め授業づくりに取り組むことが必要であると考えます。

目指す児童
像

(3) 目指す児童像

本校では、児童の実態や地域の教育課題をうけた学校経営方針、及び時代や社会の要請に答えるために、自分の将来を描いて意欲的に学び、自分の将来に繋げ、未来を切り開いていけるような児童の育成を目指す。学校教育目標に掲げられている「進んで学ぶ みなみの子ども（知育）」「思いやりのある みなみの子ども（徳育）」「じょうぶで元気な みなみの子ども（体育）」を具現化するためにも、健康な体と豊かな心を土台とした確かな学力を育成していく。

これらのことを受け、本校では今年度より 2 年間、甲斐市教育委員会より「確かな学力の育成推進事業」の指定を受ける。

研究の重点

3 研究の重点

昨年度の
研究から

(1) 昨年度の研究から

昨年度の研究では意欲をもって主体的に学ぶ児童を育成するためにアクティブ・ラーニングを取り入れた授業改善に取り組んだ。教師集団がアクティブ・ラーニングの視点をもてるようになり、研究授業を通して能動的な学びについての考えを共有化できたことは大きな成果であった。また、心の涵養、家庭学習の充実も図れるよう、学年GW・領域GWを組織し多方面から広い視野でテーマに迫れたことも深い研究へとつながった。授業づくりにおいては「意思決定場面」「選択場面」を仕組んでいくことが、主体的な学びを実現させるために有効であることが明らかになった。

本年度の
方向性

(2) 本年度の方向性

i) 授業改善…「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりに向けて

これまでの本校の実績から一定の有効性が見出された、児童がより主体的に学ぶことができる「意思決定場面」・「選択場面」を仕組む授業づくりに取り組む。この取り組みを通して「意思決定場面」・「選択場面」をブラッシュアップさせ、本校としての定義付けを目指したい。合わせて「めあての自覚化」を促すことで学びの必然性をもてるようにし、児童の学習意欲を喚起する。児童の様子から豊かに前向きに学習しようとする姿勢が見て取れるが、その姿勢が個人内に閉じてしまっているという傾向がある。だからこそ、授業の中で対話による意見のやり取りを大切に重ねていきたい。そのような過程の中で、対話を通して児童の「比較・関連・総合」していくという思考プロセスがより活性化し、深い学びにつなげていくことができると思われる。これまでに本校が培ってきた成果を生かしながら、実績を確認し合い、児童の実態にあった具体的な手立てを模索していく。具体的にはICTを取り入れるなど、確かな学力を育成できるような様々な授業改善を図ることで、児童の学ぶ意欲をさらに掻き立てることができると思う。

ii) 道徳

確かな学力につながる道徳的価値の洗い出しを行い、道徳の時間を通して自尊感情や規範意識の高まりを目指し心の涵養を図る。このことが土台となり、発達の段階や学校段階、地域特性に応じ安全教育と安全管理の両面から学びの環境を整えることにつなげていく

ことができる。

iii) 家庭学習

本校の児童は学びに対する興味関心が高く意欲をもっているが、どのように学習すればよいのかということではつまづいている児童が見受けられる。確かな学力を育成するためには家庭との連携は欠かせない。どのように家庭学習すればよいのか、基礎基本の定着が図れるような、そのモデルを示すことで自尊心の高まりも期待でき、これらが複合的に作用し合って確かな学力が育成されていくと考える。

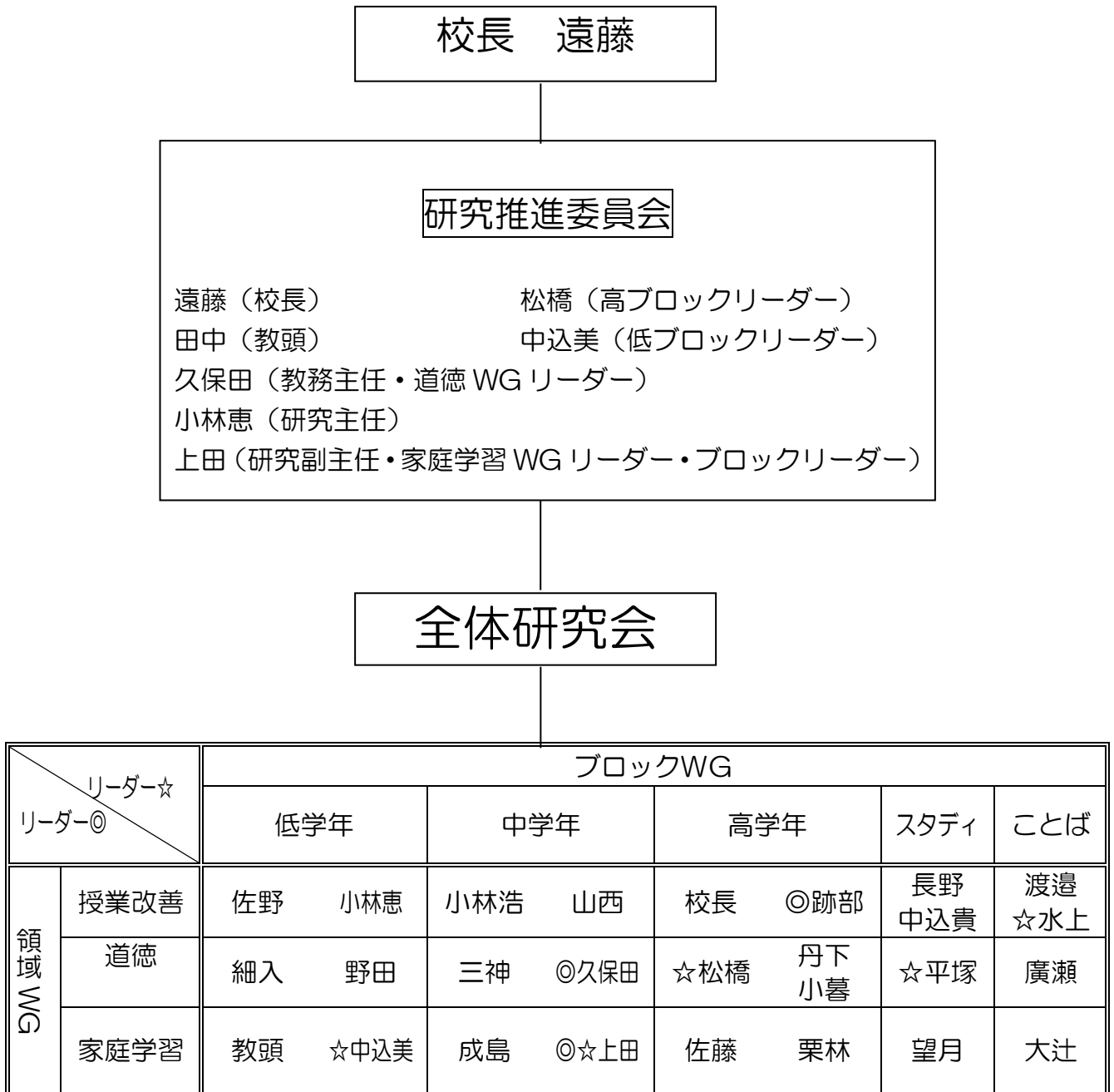
具体的な
研究内容

4 具体的な研究内容

WG	重点活動項目
授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの実績の確認, 改善, 実践 <ul style="list-style-type: none"> ・「意思決定場面」「選択場面」を意識した授業づくり ・「必然性」が感じられる「めあての自覚化」の日常化 ○体験活動の取組 (総合的な学習の時間・地域と連携した農園活動・校外学習・他学年と連携した取組など) ○効果的な ICT 活用 ○普通の授業のあり方 (やまなしスタンダードを取り入れて)
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力につながる道徳的価値の洗い出し ○自尊心を伸ばしたり, 主体的に学ぶ心の涵養を目指したりする道徳教育の推進 ○道徳の基礎基本 <ul style="list-style-type: none"> ・学年の重点内容項目 ・発達の段階に応じた目標の観点 ・指導案の形式と授業の展開方法 ○全学級道徳授業参観 (保護者地域向けリーフレット指導案の提示) ○心の掲示板づくり ○自尊心を高める集会の工夫
家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習の質的向上 ○意欲的に取り組める基礎基本学習のモデルづくり ○家庭学習実践例の収集とその紹介 ○学びの分かるノートづくり ○先進例の紹介や学習会

5 研究組織

研究組織については、各自が、学校教育全体をきちんと見渡す分掌を受けもつ中で、自らの担当する学年の児童たちのための研究を推進することができるように、2つのWG（領域WGと学年WG）へ所属する体制をとる。2つのWG体制をとることで、複数の組織に所属することによって、自分を生かせる場を見つけ、その場において力を発揮することが可能となる。場面場面における力量の違いをカバーしあうチーム力（チームワーク）を大切にしたい研究の推進を心がけたい。



6 授業研究の見通し —今後の研究の深まり、広がりの変更あり—

○低学年・中学年・高学年でそれぞれ1本 計3本の提案授業

○授業本数分の講師招聘 できるだけ早い時期に決定

7 年間計画

	研究会名	開催日	主な形態	主な研究・活動内容	
I 期	学 力 向 上 に つ な が る 心 の 教 育	第1回研究推進委員会	4月10日(月)	推進委員会	第1回校内研究会の原案検討
		第1回校内研究会	4月12日(水)	全体研	研究の概要 研究の重点 研究組織
		第2回校内研究会	5月17日(水)	領域WG	テーマ 活動計画 掲示計画
		第3回校内研究会	6月7日(水)	ブロックWG	道徳学習会 授業参観に向けての授業づくり no1 (題材・資料の選定 リーフレット指導案づくり) テーマ 重点項目など
		道徳授業参観			6月23日(金)1/2 27日(火) 3/4
		第4回校内研究会	6月28日(水)	ブロックWG	低・中：授業の見通し単元の選定 高：授業参観に向けての授業づくり no2 (リーフレットの完成 細案づくり 授業会場環境整備)
		道徳授業参観	7月4日(火)5/6	授業参観	保護者・地域の方向け道徳授業公開2(高)
II 期	課 題 の 追 究	第5回校内研究会	7月5日(水)	領域WG	進捗状況の確認
		第6回校内研究会	7月24日(月)	全体研	各WGの提案
		第7回校内研究会		8月22日(火)	ブロックWG
		第8回校内研究会	9月6日(水)	全体研	指導案検討
		第9回校内研究会	10月11日(水)	全体研	研究授業 ○年○組 授業者… 外部講師招聘
		第10回校内研究会	10月18日(水)	全体研	指導案検討
		第11回校内研究会	10月25日(水)	全体研	研究授業 ○年○組 授業者… 外部講師招聘
		第12回校内研究会	11月15日(水)	領域WG	進捗状況の確認
		第13回校内研究会	11月29日(水)	全体研	スタディ・ことばの実践報告
		第14回校内研究会	1月17日(水)	全体研	授業案検討
		第15回校内研究会	1月24日(水)	全体研	研究授業 ○年○組 授業者… 外部講師招聘
III 期	成 果 の 整 理	第16回校内研究会	2月7日(水)	全体研	これまでのふりかえりと3学期に向けて 研究紀要作成について
		第17回校内研究会	2月14日(水)	ブロックWG	研究紀要の執筆
		第18回校内研究会	2月21日(水)	全体研	まとめと次年度の校内研究について
		(研究紀要の原稿完成)	2月下旬		紀要原稿印刷所入稿
		第19回校内研究会	2月28日(水)	ブロックWG	(教育課程づくり)

授業時期・授業単元等の確認・日程調整

※特別支援・ことばの教室についての研究も合わせて研修していく。

未来

学力向上 確かな学力

思考 判断 表現

深い学び

比較 関連 総合

対話

指導過程づくり

意思決定場面

選択場面

主体的

意欲

ICT

授業改善

家庭学習
基礎基本

めあての自覚化

必然性

確かな学力につながる道徳的価値の洗い出し

道徳

自尊感情